

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告

< 52 2011.10.30 > 連絡先 402-1622

衆院一区候補に国重秀明さん

10月12日、日本共産党和歌山県委員会は、次の衆議院選挙の和歌山一区（和歌山市区）候補として、国重秀明さんを擁立すると発表しました。国重さんは1960年生まれの50才。前回の衆議院選挙に続いての立候補となります。

みなさん、こんにちは。くにしげ秀明です。さる12日、次期衆院選の和歌山一区と比例代表へ立候補すると記者会見で発表させていただきました。よろしくお願ひします。



3月11日の大地震と原発事故から7カ月余・生活や仕事を取り戻そうと、がんばる人たちの支えになる政治を作らねばなりません。

そんなときTPP（環太平洋連携協定）に野田内閣が参加をめざしていることは許せません。協定では関税撤廃がルールです。農林水産省は、食料自給率は39%から13%へ下がり、国民が食べるコメの9割以上が外国産になると予測しています。日本の食と農をつぶしてしまう暴走にストップを！

どこも広く、万歩計によると、毎日一万歩以上、多い日は二万歩近く歩きました。取り入れたカロリーも多かったです。消費カロリーも多かったです。（写真は天安門）



みち子のひとりごと 無事戻りました

万里の長城など観光地だけでなく、盧溝橋の抗日人民戦争記念館にも行き、日本が中国でしてきたことがつばさに展示されているのを見ました。日本では知らされていない事実がそこにはありました。古い中国と新しい中国、日本との関係など、考えさせられることの多い旅でした。

一週休んだだけなのに、ずいぶん長い間二ユーをやらなかったような気がします。中国へ行って来ました。出発の時に雨が降っていた以外は、暑いくらいの晴天で天候に恵まれました。北京では、車の多さにびっくりし、にもかかわらず空の青いことに驚き、西安では北京より内陸にあり車も少ないのに、一日中空がかすんでいることが不思議でした。

「東日本大震災により生じた災害廃棄物の受け入れ検討状況調査について」

――国が県を通じて市にアンケート実施市は「受入可否の判断ができない」と回答

10月7日に環境省から県に調査依頼に事務連絡がありました。その内容は、

「東日本大震災により生じた災害廃棄物の広域処理については、(略)放射性物質による災害廃棄物の汚染を心配する意見が全国各地で寄せられ、慎重な対応を余儀なくされていたところです。環境省では(略)今後、広域処理を加速するため、環境省本省と地方環境事務所が緊密に連携し、広域処理のマッチングをすすめることとしています。このため、(略)別紙要領により調査を実施します。なお、本調査の結果について、個別の地方公共団体名は公表しないこととしています。」というものです。

別紙要領では 検討状況
検討内容等
受け入れが想定される廃棄物
処理施設名
1日処理可能量
年間最大受け入れ可能量 が、問われています。

この調査に対する市の態度と回答 ...市民環境局環境事業部一般廃棄物課

「平成23年4月11日付け環境省発出の事務連絡「東日本大震災により生じた災害の廃棄物広域処理体制の構築に対する調査について」の依頼があり、本市として、被災地の復興支援のため受け入れ可能な廃棄物量を回答しましたが、その時点では、放射能汚染については問題視されていませんでした。

それ以後、国等からの接触はありませんでしたが、10月7日付けで環境省から各都道府県に対し、「東日本大震災により生じた岩手及び宮城県の災害廃棄物の受入検討状況調査」として管内市町村等における現時点での受入検討状況の調査をするため、10月13日付けで和歌山県循環型社会推進課長から調査依頼がありました。(県の回答期限：10月20日 国の回答期限：10月21日)

全国的な調査であり、このことを知った市民の方からのお問い合わせもいただいておりますが、現時点では国が示す放射線物質を含む廃棄物の安全な処理基準が不明確であり、市民の健康被害及び商業・農業に対する風評被害の可能性並びに近隣市町村等への影響なども考慮した結果、本市は今回の調査に対し「現時点では災害廃棄物の受け入れの可否の判断ができない」と10月20日に回答いたしました。(10月21日)